

【学校の教育目標】		ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成（小・中学校共通） ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）～				【育成を目指す資質・能力】		対話力の向上				資質・能力との関連		検証・改善フローシート				月ごとのや学期途中での検証・改善に繰り返し使用できます。			
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	知識・技能	思考・力表現力・判断力	力・人間性・社会性等の	担当	確認・検証・改善【回目】				月 日( )実施				学校関係者評価(月日)					
								(評価 4:100%以上 3:80%以上100%未満 2:60%以上80%未満 1:60%未満 ※%は達成率)				取組指標に対する 取組状況の確認				達成指標に対する 達成状況の確認				評価 指標別 検証	改善方法
				取組状況(エビデンス)		実施率		達成状況(エビデンス)		達成率		指標別 全体									
基礎的基本的な知識や技能の定着	○ 定期テスト（5教科）における問題データベースから出題する基礎・基本問題の平均正答率 70%以上	R7 1学期 62%	学校	○ 基礎・基本の定着	○ 2週間に1回問題データベースやキュビナを使った単元テストを実施	○ ○ ○ ○	健やかな体									評価 指標別 検証	改善方法				
	○ 生徒アンケートで「使える表現が増えたり構成を考えて文章を書いたらできるようになった」と答える生徒 60%以上			○ 文章構成や適切なことはを選ぶ力の育成	○ 朝読書を行い、週末に読書日記を作成させる。読書日記の内容で構成の良い文章を掲示し、自分のものと常に比較できるようにする。さらに『おすすめの本の紹介』作成を月																
表現力の向上	○ 期末テスト（全教科）における記述式回答の回答率 80%以上	R7 1学期 80%	学校	○ 短学活の充実	○ 毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付ける	○ ○ ○ ○	確かな学び									評価 指標別 検証	改善方法				
	○ 期末テスト（全教科）における思考力・判断力・表現力を問う記述式問題の正答率 65%以上			○ 対話レベルの習得	○ 対話レベルを「聞くこと」「話すこと」スキル表により、現在の自分のレベル、次に目指すレベルを明確に意識させる。対話レベルチェックを月に1回行う。																
他者との協働	○ 生徒アンケート「話し合い活動を通して、自分の考えがより明確になったり、相手の意見の良さが分かったり、新しい解決の糸口を見つかりできるようになった」と答える生徒 75%以上	R7 1学期 データなし	家庭	○ 家庭学習の確立	○ 保護者は、学期に1回以上、家庭学習時間の点検・評価を行う	○ ○ ○ ○	豊かな心									評価 指標別 検証	改善方法				
	○ いじめや差別をしない、許さない生活ができると答える生徒 80%以上			○ 表現する場の設定	○ 月1回の「読み聞かせ」終了後、感想発表や意見交換の場を設定する																
「働き方改革の推進」	○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員 75%以上	R7 1学期 90%	学校等	○ チームや学年部を活用した業務の見直し	○ 管理職は月1回時間外勤務の状況把握と要因の検証を運営委員会で行うとともに、学期に1回の個人面談を行う	○ ○ ○ ○	管理職									評価 指標別 検証	改善方法				
	○ 「効果・効率的な働き方に努めた」「時間外勤務時間が縮減した」と実感が持てる 2つの回答の平均 60%			○ 地域の学校支援活動の充実	○ 学期に1回以上、授業や行事での補助人材を提供する。 ※学校運営協議会にて地域人材の情報提供をする。																